

目的

海洋資源を生かした遊漁船業等の振興や漁村体験等の取組を推進することにより、**漁村に多様な仕事を創り出し**、「若者が住んで稼げる元気な漁村」の実現を図る。

課題

- 1 遊漁関連事業者の連携等による新たな顧客層の呼び込み
- 2 ブルートーリズムの推進
- 3 アサリ資源の回復による潮干狩りの復活
- 4 女性の雇用の場の確保
- 5 豊かな川づくりによる河川遊漁人口の拡大

H29年度取組の方向性

- 1 ホテル等の連携した団体客の受入やきめ細やかなサービスの提供
- 2 漁村体験メニューの磨き上げ
- 3 大規模被せ網の実施によるアサリ資源の回復と有効利用に向けたルールづくり
- 4 集活センターと連携した加工用原魚の確保
- 5 アユ、モズガニ等の種苗放流や河川漁場環境の保全と資源の適正な管理

目指すべき姿

漁村の交流人口の拡大

漁村での多様な仕事の創出

中山間地域（漁村）の活性化

これまでの取組

- 1 遊漁船業等の振興**
 - (1) アドバイザーによる指導
 - ・浦ノ内湾の釣り筏、あしずり港の釣り堀等を現地指導
 - (2) 集客力の強化
 - ① 浦ノ内湾の釣り筏の振興
 - ・浦ノ内湾釣り筏渡船振興会を設立
 - ・ホテルと連携した団体客の受入れやHP等による情報発信を開始
 - ② 安芸のシラス漁見学体験の振興
 - ・シラス魚の見学、船上試食ツアーを開始
 - ・HPによる情報発信とエンジン、レーダーを整備
 - (3) 研修会の開催
 - ・H29.3 安芸市 遊漁船業者等23人が参加
- 2 漁村体験と海洋資源の活用**
 - (1) 漁村体験
 - ・HP「タラッタ！こうち」による情報発信
 - (2) 天皇洲の潮干狩り
 - ・被せ網による資源回復手法の確立（2kg/m²の増産）
 - (3) 漁村女性の加工・販売
 - ・奈半利町**集活センターが産地市場の買参権を取得**
 - ・加領郷魚舎に3月から加工用原魚の供給を開始
- 3 河川での遊漁振興**
 - (1) 種苗生産・放流
 - ・アユ、モズガニ等の人工種苗を生産・放流
 - (2) 河川漁場環境の保全
 - ・産卵場の造成、生息場の整備、カワウ等の駆除
 - (3) 資源の適正な管理
 - ・委員会指示によるウナギ、モズガニの採捕を制限

取組内容（H29）

1 遊漁船業等の振興

- (1) **(新)** 黒潮町の遊漁船業等の振興
 - ・アドバイザーによる現地調査と課題の抽出（6月）
 - ・集客力の強化に向けた意見交換会の開催（8月）
 - ・様々な体験メニューを組み合わせた新商品の提供の検討
- (2) 浦ノ内湾の釣り筏の振興
 - ・コアな釣り客に向けた**情報発信の強化**
 - ・**釣具店、ホテルと連携したイベント**の開催
 - ・筏上への**サポーターの配置**
 - ・周辺温泉施設・飲食店等との連携 など
 - ・宇佐地区等との連携によるクラスタープランの策定
- (3) **(新)** 竜串地区の誘客事業の振興
 - ・民間企業がホテル等と連携し、遊漁船業等への誘客事業に着手
 - ・関連事業者による**協議会の設立**
- (4) シンポジウムの開催
 - ・海洋資源を生かしたサービス業の連携をテーマにシンポジウムの開催

活用を検討

2 漁村体験と海洋資源の活用

- (1) 漁村体験（マリンスポーツ、たたきづくり、漁業体験など）
 - ① **情報発信**
 - ・HP「タラッタ！高知」による情報発信
 - ・担い手対策とセットになった情報発信
 - ② **(新)** 東洋町や黒潮町でのブルートーリズムの推進
 - 事業実施主体：**東洋町中山間地域活性化協議会 黒潮町観光ネットワーク**
 - 事業内容：マーケティング調査、観光コンテンツの磨き上げ
人材育成、情報発信の強化
※農山漁村振興交付金を活用
- (2) 天皇洲の潮干狩り
 - ・**(新)** 国の事業を導入し、**被せ網を30,000m²設置**
 - ・食害生物の駆除・漁獲方法と利用についての検討と実施
 - ・**H30年（全国豊かな海づくり大会）の一部解禁**に向けたルールづくり
 - ・天皇洲周辺でのアサリ採捕禁止区域の設定（継続）
- (3) 漁村女性の加工・販売
 - ・加領郷魚舎と**奈半利町集活センターの連携による原魚の確保**

3 河川での遊漁振興

- (1) 種苗生産・放流
 - ・内水面種苗センターがアユ、モズガニ人工種苗を生産・供給
 - ・県内15河川でアユ、モズガニ、ウナギ、アメゴを放流
- (2) 河川漁場環境の保全
 - ・産卵場の造成・生息場の整備、河川清掃
 - ・カワウやブラックバスの駆除
- (3) 資源管理の適正な管理
 - ・**(新)** 実態調査を実施し、テナガエビの資源管理措置を構築
 - ・**(新)** 一部水域でのアユ早期解禁に向けた規則改正の検討
 - ・委員会指示によるウナギ、モズガニの採捕を制限（継続）

新 農山漁村振興交付金（渚泊推進対策）【国】（補助率：定額、1/2）
○渚泊を推進するための体制構築、観光コンテンツの磨き上げ
○渚泊を推進するために必要な施設整備
※ 渚泊：漁村での滞在型観光